

近づく出水期に向けて

洪水対応演習を行いました

今年も梅雨、台風による出水期が近づいています。出水期を迎えるにあたり、毎年5月には全国一斉に洪水対応演習を行っています。

5月12日(水)、13日(木)の2日間、三春ダム管理所においても洪水期のダム管理に万全を期すために洪水対応演習を行いました。



三春ダムが放流を開始する場合や、放流によってダムから下流の大滝根川、阿武隈川の水位が上昇する場合は、三春ダムから県中建設事務所、三春土木事務所、郡山市、三春町、消防本部、県警本部へダムの情報を連絡し、情報を共有して、お互いの防災体制を整えています。当日も上記の機関が参加して、三春ダムが洪水調節を行っている想定で、ダムからの情報連絡、受信確認といった訓練を行いました。

三春ダムは6月11日から洪水の発生しやすい時期を迎えますので、放流などダムからの情報に注意をお願いします。

ダム設備の点検を実施しました

今年度も各係で様々な業務が発注され作業を行っています。電気通信係では「電気施設点検業務」「情報通信施設点検業務」と、「放流設備外点検整備」が発注され、5月から点検を行っています。

電気施設点検業務と情報通信施設点検業務では、ダムのゲート制御に欠かせないダムコン(ダム用コンピュータ)を始め、ダムからの放流を住民の方々にお知らせする放流警報装置の点検を行っています。

放流設備外点検整備では、ダムから実際に放流する時に使用するゲートやバルブ等の点検を行っています。設備の異常の有無をはじめ、動作確認についての点



電気施設点検業務の様子

検を行うことで障害を未然に防ぎ、洪水時に安全かつ確実に設備を稼働させる事が出来るようにしています。

リフレッシュ放流による 河川水位の上昇に、ご注意ください。

三春ダムでは、大滝根川の河川環境を保全するため2週間に1回、リフレッシュ放流を実施します。

リフレッシュ放流は、平時におけるこれまでの毎秒1m³程度の放流を最大で毎秒20m³の放流を行うことで、①川の石に付着した古い付着藻類を洗浄し、新しい付着藻類の成長を助ける。②川のだよみ等の環境悪化を解消する。③底生動物、魚類の良好な生息環境の保全を図ることの効果を期待するものです。

今年度も、第1回目を6月15日（火）より、10月5日（火）までの隔週火曜日に合計9回の実施を予定しています。



斉藤地点のだよみ状況

リフレッシュ放流実施にあたっては、河川巡視広報、警報所等からの周知を実施いたします。郡山市赤沼地区で約70cmの水位上昇がありますので、河川をご利用される際にはご注意願います。

三春ダム維持管理協議会総会を開催

5月27日（木）に、三春ダム維持管理協議会の総会がさくら湖自然観察ステーションで開催されました。

三春ダム維持管理協議会は、三春ダムの適正な維持管理及び水質の保全を図ることを目的に、協議会会員として郡山市、二本松市、三春町、船引町、本宮町及び白沢村、顧問として三春ダム管理所、福島県で組織されています。

総会では、平成15年度の事業報告・収支決算報告、平成16年度の事業計画（案）・収支予算（案）について審議され、それぞれ了承されました。



また、会長等の役員改選が行われ役員全員、再選となりました。総会の後半では研修会として、三春ダム管理所大類所長より「水源地における環境管理」について講話があり、講話の後に質疑応答が行われました。

シリーズ 「私のふるさと紹介」

【宮城県・仙台市太白区】の巻
総務係 芳賀 高志

私の故郷は仙台市の太白区です。太白区は東北の中心地として発展を続ける仙台の中にあって、長町地区など一部の地域を除きまだまだ自然が多く残っていて、私の子供の頃とあまり風景も変わっていないように思います。

仙台の紹介ということであれば、色々書くこともあると思います。でも、太白区限定となると・・・どの辺を紹介すればいいか悩むところですが、まず仙台の奥座敷として全国的に有名な（地元の人がそう思っているだけかも知れませんが）秋保温泉があります。（実家から車で15分程とあまりに近すぎるため、残念ながら宿泊したことは一度もありません。）

仙台の
奥座敷
秋保温泉



また、秋保温泉の周辺には、秋保大滝、二口溪谷等の景勝地や森林スポーツ公園、天守閣自然公園等があり、市民の憩いの場となっています。



国指定の
名勝・
秋保大滝

次に太白区の名前の由来になった太白山を紹介します。実家から約1.5kmの所であり子供の頃は遊びに、浪人、学生時代は「一人になり」よく行っていました。ふもとへ続く道路は道幅も狭く、駐車スペースもあまりないため、それほど多くの人を訪れることはありませんが、個人的にはその静かなところがよかったです。登山道も整備されていて山頂に登ることもできます。標高321mと低い山ですが、山頂付近は急峻で、登りごたえは充分だと思います。

名前の由来
となった
太白山



その他に、八木山地区には動物園や遊園地、長町地区には映画館も入っている巨大ショッピングモール等（これができてから仙台駅前にはほとんど行かなくなりました。）があり、豊かな自然とそこそこの便利さを備えた、大変住みやすい所ではないかな、と自分では思っています。

以上、自分の行動範囲を中心に太白区の紹介をしてきました。太白区は仙台の中ではあまり目立っている地域ではありませんが、紹介した以外にも良い所はたくさんあると思います。みなさんも仙台を訪れる機会がありましたら、太白区の方にも注目してもらえればうれしいです。



Q1. なぜダムを造ったのですか？

三春ダムは、大滝根川と阿武隈川の洪水を防ぐという役割、河川に水を確保し潤いのある美しい川の流れを守るという役割、かんがい用水の供給、生活用水・工業用水の供給といった色々な目的のために造られた多目的ダムです。

大滝根川が流れ込む阿武隈川は、過去に何度か大規模な洪水に襲われ、大変な被害を受けている地域であることから、三春ダムは下流に住む世帯数36,000戸、人口134,000人（想定される最大氾濫区域内）の方々の洪水被害の軽減を目的として建設されました。（来月号につづく）

平常時の阿武隈川合流地点



洪水時の阿武隈川合流地点



撮影 安原橋付近（郡山市）平成14年7月11日

ダム資料館からのお知らせ

1階展示ギャラリーでは、6月18日（金）から7月2日（金）まで、郡山市の増子正吉さんらによるパステル画展（下写真の他約20点）を開催いたします。

7月5日（月）からは、川柳展を開催する予定です。お楽しみに。



自然観察ステーションからのお知らせ

- 7月 4日（日）植物標本の作り方教室
- 7月11日（日）昆虫標本の作り方教室
- 7月18日（日）土器作り教室
- 7月18日（日）自由研究相談会

“ステーションの先生方が、夏休みの自由研究のお手伝いいたします。調べたいテーマを決めてきてください。”

「水と緑の写真コンテスト」
作品募集中



詳しくは（TEL 0247-61-1546）までご連絡ください。

編集後記

三春ダムに来て早2ヶ月が経ちました。桜の花、そして新緑の美しさといった自然に囲まれた毎日でしたが、先日偶然駐車場に迷い込んだ野鳥のひなこは驚かされると同時にとても癒されました。幸い、近くを通りかかった親切な方に拾われたため、無傷で親鳥のもとへ帰ることができ、ほっとしております。梅雨の時期となり、さくら湖とその周辺も春とはまた違った一面を見せることと思います。この恵まれた環境をより身近にお伝えできるよう、紙面づくりをしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。（熊谷）

編集・発行 国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供をお待ちしています。

〒963-7722
福島県田村郡三春町大字西方字
中ノ内403-4

TEL 0247-62-3145 FAX 0247-62-3170

ホームページ
<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>